

ミッドウェイ紀行

ミッドウェイはハワイ諸島の最北部（北緯28度12分）に位置し、ホノルルとカウアイからしか行けないところで、週2便水曜日と土曜日（ジェットで2時間、プロペラ機で4時間）しか飛んでいません。

1996年に約50年間統治したアメリカ海軍が全面撤退した後、民間に解放されました。リゾートにするために軍事関係器材を撤収し、海軍宿舎をホテルにし、道路を補修し、軍の食堂をレストランにして97年から民間人が入り始めました。

ダイビングショップは98年4月頃からオープンし、98年8月に私が行った時は日本人では取材等のテレビ局を含めて約60人目でした。

今回の目的はゼロ戦と空母の捜索でしたが、残念ながら見つけることが出来ませんでした。

2002年1月末、統治しているミッドウェイ・フェニックス社が撤退したため現在、入島は出来ません。常駐していた日本人スタッフの田畑さんも解雇されて日本に帰っています。

現在、まだ再開の目処がまったく立っていないため、このビデオは貴重な映像になりました。

【ミッドウェイで見れる生物等】

- ・世界の70%のコアホウドリが11月から7月にかけて、この小さな島で生息、繁殖しています。
- ・絶滅寸前のハワイアンモンクシールアザラシが約45頭生息していて、一定の距離（30m以上離れる）で観察が許可されています。
- ・約200頭のハワイアンスピナードルフィン（ハシナガイルカ）が環礁内に生息しています。
- ・ロウニンアジ、カンパチ、シマアジ、カスマアジなどが頻繁に見られます。ロウニンアジのサイズでは世界記録があります。（ミッドウェイはフィッシングが有名）ベストシーズン（5月～10月）は大物、小物が一度にドーンと出現します。
- ・ハワイの固有種をはじめとする貴重な種族（マスクド・エンジェルフィッシュ、バンディッド・エンジェルフィッシュ、ポターズ・エンジェルフィッシュ、等）が比較的浅い深度（10m～20m）で頻繁に見られます。ミッドウェイは日本とハワイの間に位置しているので、日本で生息しているイシダイ、イシガキダイ、クチジロなどが簡単に見られます。
- ・サメが多い。ガラパゴスシャーク、グレイリーフシャークなどが主流で、コアホウドリの雛が水面から飛び立つシーズン（5月～7月）にはタイガーシャークがエサを求めてやってくるので遭遇するチャンスがあります。

- ・ダイナミックな海底地形

古く巨大な岩珊瑚群で構成されたハングオーバー、ケープ、一枚岩などがありますが、ドロップオフはまだ見つかっていません。

- ・水温

夏場は27度まであがり、4月、11月は20度以下になります。

- ・透明度

夏場に近いほど海況が安定し30～40mになりますが、干潮の影響によって1日のうちでも随分変わります。

- ・米軍のコルセア1機が約40mの海底に沈んでいます。

総論として水中は小笠原とハワイをミックスしたような海で、文字通りMIDなWAYです。

以上
浜谷 優